

〔授業の終わった教室で〇〇が帰りの準備をしていると、侑奈が声をかけてきて〕

「あのさ、今日の放課後、時間ある？」

「そっか、よかった。じゃあちよつと教室残って。で、広報委員の資料作成手伝って」

「なんで、って。暇なんでしょ？」

「ほら、やっぱり暇じゃん。なら手伝って」

「なんで俺なんだ、って…別にいいじゃん。理由なんかないわよ」

〔徐々に小さくなり〕

「強いて言うなら…席が近かったから。それと…私に、お仕置、してくれるから…」

〔囁くように〕

「あなたなら、分かるわよね…？なにをすればいいのか…」

「今日も、色んな人に見られながらされるお仕置…楽しみにしてるわねっ…ふふっ…」